

# 研究名：食物経口負荷試験における食品別の誘発症状重症度と重症度決定因子の解析

## 1. 研究の目的

食物経口負荷試験は、食物アレルギーの確定診断や閾値の評価手法として広く用いられている試験です。負荷試験では、アレルギーの原因食物を実際に摂取するため、アナフィラキシーなどの重篤な症状が起こる可能性があります。そこで本研究では、重症化のリスクを避けられるよう、負荷試験での症状の重症度に関連する項目を探索し、より安全な負荷試験の実施方法を検討します。

## 2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて2021年4月～2022年4月までに食物経口負荷試験を実施された方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年3月
- ③ 研究方法：負荷試験を受けた患者さんの電子カルテの記録や負荷試験の実施記録を収集し、得られたデータを統計的に解析します。

## 3. 研究に用いる情報の種類

試験前の血液検査結果、アナフィラキシーや他のアレルギー疾患の既往歴、負荷試験での摂取量、症状の重症度判定等。

**※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報とは調査対象ではなく、個人情報は保守されます。**

## 4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

## 5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年8月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター アレルギーセンター 石川 史  
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1  
電話：03-3416-0181（内線：7850）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター アレルギーセンター 伊藤 渚